

内航海運における新型コロナウイルス感染症の影響



令和2年6月

日本内航海運組合総連合会

最近の内航貨物の輸送動向（1）－貨物船

内航海運の最近の主要品目別輸送動向

単位：千トン・台・KL

		2月	3月	4月	状況分析等
鋼材	当年	3,361	3,406	2,633	<p>世界的な鉄余り状況とコロナ不況が加わり、輸送需要が減少。高炉メーカーも日本製鉄が現在、高炉15基中4基の休廃止、JFEスチールが高炉8基中2基の休止、神戸製鋼が高炉3基中1基の休止。</p> <p>これにより、我が国の粗鋼生産能力は1億トンから8千万トンに減少するとの予測もある。この影響で鋼材関係の内航船は使用船舶の返船、用船料の引き下げ、係船等の事象が現出。また、5月は更に輸送量が減少しているとの見通し。</p>
	前年	3,712	4,032	3,617	
	増減(%)	-9.5	-15.5	-27.2	
自動車	当年	4,102	4,606	2,852	<p>コロナウイルスの感染拡大の影響によりサプライチェーンが寸断、世界的な景気が悪化し自動車販売量並びに自動車生産量が激減。</p> <p>この影響により内航輸送量も大幅に減少、5月は更なる落ち込みと推定。また、自動車生産量低下は自動車用薄板鋼板の需要減となり、鉄鋼需要を直撃。</p>
	前年	4,287	5,069	4,225	
	増減(%)	-4.3	-9.1	-32.5	
紙・パルプ	当年	148	161	148	<p>コロナウイルスの感染拡大の影響により、商業活動が著しく制約、それと同時に在宅勤務が広まる。</p> <p>その結果、広告宣伝用紙やコピー用紙の需要が減少するなど紙消費量が著しく減少。</p>
	前年	197	223	199	
	増減(%)	-24.7	-27.6	-26	

日本内航海運組合総連合会調べ

最近の内航貨物の輸送動向（２）－タンカー

内航海運の最近の主要品目別輸送動向

単位：千トン・台・KL

		2月	3月	4月	状況分析等
白油	当年	5,534	5,357	4,544	
	前年	5,836	5,986	5,521	
	増減(%)	-5.2	-10.5	-17.7	
ケミカル	当年	629	607	631	<p>コロナウイルスの感染拡大による自動車生産量の落ち込みにより、自動車生産に使用されるケミカル製品の需要も減少。</p>
	前年	728	749	769	
	増減(%)	-13.7	-18.9	-17.9	

日本内航海運組合総連合会調べ

内航海運の現況

- ・ 突然の需要蒸発により、内航海運市況の需給バランスが悪化。用船料のカット、返船、係船が行われ非常に厳しい状況。
- ・ 物流は人流と違い、コロナが収束すれば急回復するわけではなく、日本経済全体の復活に追従するため、タイムラグが生じる。



コロナ対策として内航海運業界に関しての政策を行うためには

コロナ対策としての政策

○取引環境の改善について

コロナ対策として内航海運業界に関しての政策を行うためには

↳ 透明性の確保された契約システム

○今後の国内海上輸送需要の見通し

- ・ 需給バランスを改善し、市況を回復させる事が持続可能な業界となるために必要。
- ・ 今後の荷主の生産動向等の把握は内航政策を実施する上でも必須。

↳ 基本政策部会等の場において荷主から生産動向等をお示しいただき、関係者で議論が行われ、必要な対策が実施されることを期待。